

## ⑫ 公開実用新案公報(U)

昭62-127305

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>B 21 B 45/08  
B 24 C 7/00

識別記号

庁内整理番号

8315-4E  
D-6682-3C

⑭ 公開 昭和62年(1987)8月12日

審査請求 未請求 (全3頁)

⑮ 考案の名称 メカニカルデスケーリング設備の自動フラッシング装置

⑯ 実 願 昭61-12661

⑰ 出 願 昭61(1986)1月30日

⑱ 考 案 者 樋 野 悦 司 倉敷市水島川崎通1丁目(番地なし) 川崎製鉄株式会社  
水島製鉄所内

⑲ 考 案 者 中 西 敏 修 倉敷市水島川崎通1丁目(番地なし) 川崎製鉄株式会社  
水島製鉄所内

⑳ 出 願 人 川 崎 製 鉄 株 式 会 社 神戸市中央区北本町通1丁目1番28号

\(代 理 人 弁 理 士 今 岡 良 夫

## ㉑ 実用新案登録請求の範囲

所要の粒度に分級された砂鉄と水とのスラリーを貯留するスラリー貯留槽4内のスラリーを、電磁開閉弁5と圧送用ポンプ6とを有するスラリー補給用配管7を経て、前記砂鉄と水とを一定の混合比に攪拌する混合槽8内へ供給し、この混合槽8内の一定混合比のスラリーを、高圧ポンプ9を有するスラリー供給用配管10を経て噴射ヘッドへ供給するメカニカルデスケーリング設備において、前記スラリー補給用配管7中の電磁開閉弁5と圧送用ポンプ6間の管路に、電磁開閉弁11を有する高圧水供給管12を接続し、前記圧送用ポンプ6の停止を検出するポンプ停止検出器13を設け、このポンプ停止検出器13の検出信号により、前記高圧水供給管12中の電磁開閉弁11を開放した後、前記スラリー補給用配管7中の電磁開閉弁5を閉止し、かつスラリー補給用配管7

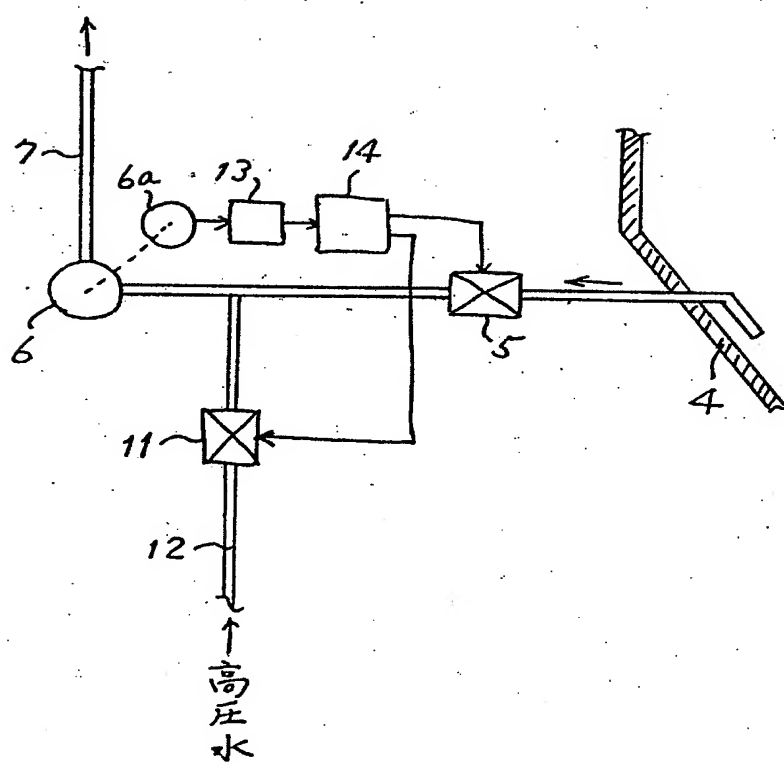
のフラッシング完了可能時間後、前記電磁開閉弁11を閉止すると共に電磁開閉弁5を開放する制御器14を設けたことを特徴とするメカニカルデスケーリング設備の自動フラッシング装置。

## 図面の簡単な説明

第1図は本考案装置のブロック図、第2図はメカニカルデスケーリング設備におけるスラリー補給系統の従来例を示す概略説明図である。

1……砂鉄ホッパー、2……スクリーンフィーダー、3……ベルトコンベヤー、4……スラリー貯留槽、5……電磁開閉弁、6……圧送用ポンプ、7……スラリー補給用配管、8……混合槽、9……高圧ポンプ、10……スラリー供給用配管、11……電磁開閉弁、12……高圧水供給管、13……ポンプ停止検出器、14……制御器。

第 1 図



第2図

